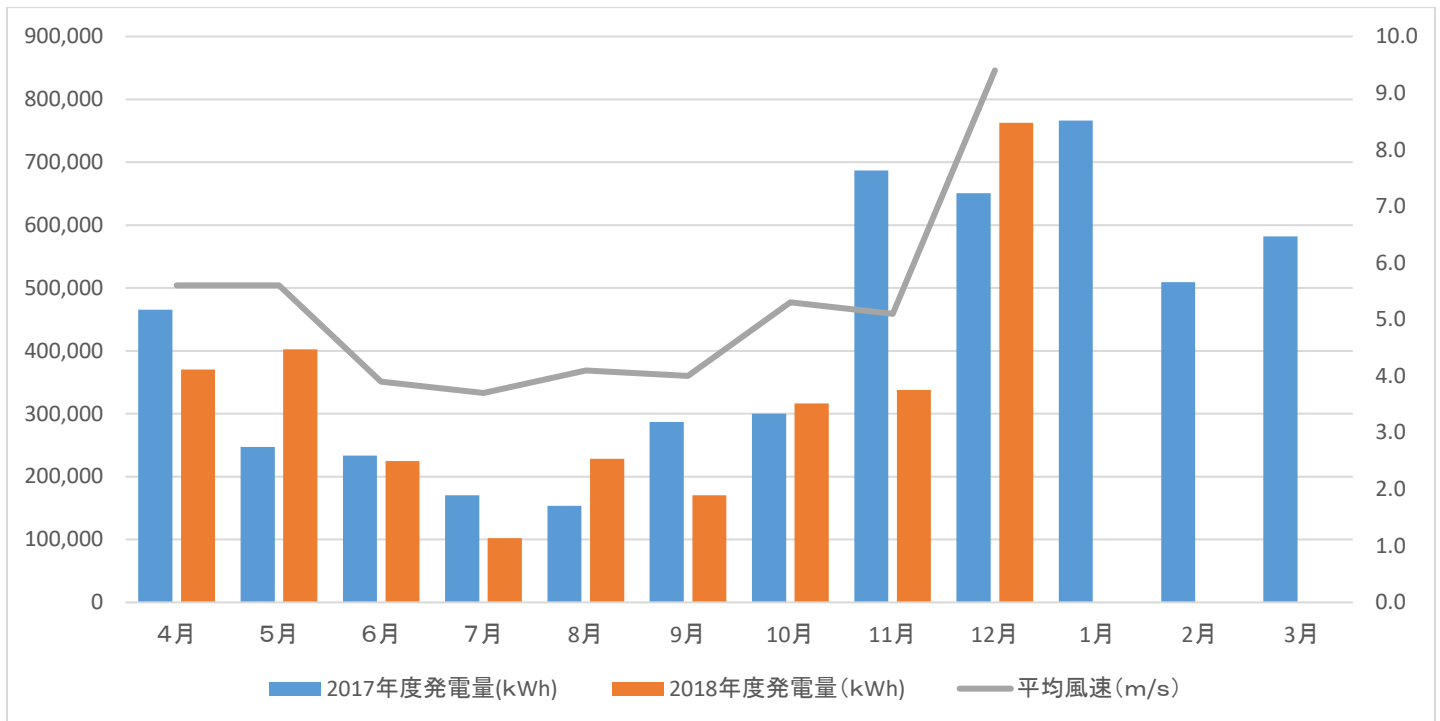


秋田県にかほ市に生活クラブ東京・神奈川・埼玉・千葉が建設した生活クラブ風車「夢風」に関するニュースをお届けします。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町1-6-9 大内ビル3F 一般社団法人グリーンファンド秋田

発行責任者 半澤彰浩(代表理事) 編集責任者 鈴木伸予

## ○ 発電実績



## 12月度運転状況について

○風況は前年同月に比べて0.9m/s低い実績となりましたが、平均風速9.4m/sと高く、風車の設備利用率も51.5%と高くなりました。

○昨年は東北電力からの解列要請が8回あり風車停止が多く発電量が低かったため、今年の発電量は前年比117.2%となりました。

	発電量 (kWh)	平均風速 (m/s)	稼働率 (%)
4月	370,505	5.6	96.6
5月	402,151	5.6	92.3
6月	224,714	3.9	98.4
7月	102,149	3.7	76.2
8月	228,380	4.1	96.9
9月	170,112	4.0	96.8
10月	316,349	5.3	94.4
11月	337,943	5.1	99.9
12月	762,460	9.4	97.1
1月			
2月			
3月			

# 未来に対して夢と希望を持ち共創社会を創造しよう

一般社団法人グリーンファンド秋田  
代表理事 半澤 彰浩（生活クラブ神奈川専務理事）



## ■ドキュメンタリー映画「おだやかな革命」で描かれている社会

新年あけましておめでとうございます。いつも生活クラブ風車・夢風をご支援、ご協力いただきありがとうございます。去年は私たちの「夢風」の取り組みも描かれている、自然と向き合い、人と向き合い、地域と向き合いながら、これからの暮らしを自らの手でつくっていかうと、自然エネルギーによる地域再生に取り組む「人たち」を描いたドキュメンタリー映画「おだやかな革命」が2月の劇場公開からスタートしました。この映画にはこれからの社会への夢と希望があり元気をもらうことができます。北海道から沖縄まで全国で劇場公開され、各地での自主上映も広がり継続して実施されています。英語訳もつくられ海外での公開も予定されています。

## ■人間社会の崩壊につながる現代社会の危機

東京大学名誉教授宇沢弘文氏が提唱した社会的共通資本という概念があります。社会的共通資本とは一つの国ないし特定の地域に住むすべての人々が、ゆたかな経済生活を営み、優れた文化を展開し、人間的に魅力ある社会を持続的・安定的に維持することを可能にするような社会的装置を意味します。大きくは土地、大気、土壌、水、森林、河川、海洋などの自然環境、道路、上下水道、公共的な交通機関、電力・ガス、通信施設などの社会的インフラ、そして教育、医療、金融、司法、行政などの制度資本の3つです。この社会的共通資本は社会全体にとって共通の財産として社会的な規準にしたがって管理すべきであり、安易に市場化（営利化）や私有化すると人間社会の崩壊につながることを提起しています。

成長と効率を追求する市場原理主義が経済格差、非正規雇用の拡大、環境破壊、コミュニティの崩壊、社会的な排除など構造的な問題を引き起こしてきています。国境を超えて飛び交う投機マネーにより実体経済は動かされ私たちの暮らしが翻弄されてきています。人間の生命に必要な「水」「食料」「種」「エネルギー」「森」「医療」「福祉」「個人情報」などを市場化するための法案の整備がすすんでいます。国民や時間をかけて十分な議論もされていません。民主主義の危機とも言えます。いいのでしょうか。

このことの終着点はナショナリズム、強い指導者、全体主義化、戦争への道へと続く危惧が今あります。沖縄・辺野古で政府がやっていることは県民の意思に反した明確な憲法違反です。そうしたことが私たちに問われていると思います。

## ■地域で豊かに暮らすための地域経済の発展、地域に資する自然エネルギーの発展が重要

政府は1964年の東京オリンピックは敗戦からの復興、今回のオリンピックは東日本大震災・福島原発事故からの復興と言っております。とんでもないことです。福島原発は廃炉もまだこれからですし周辺の放射能の問題も解消していません。

地域に暮らす「人」が主人公になる社会、お金だけに依存する価値ではなく、人の関係性や協力を中心とした価値を地域から具体的につくっていくチャレンジをすすめたいと思います。食と自然エネルギーの共同購入を基盤とした、都市と地方の人の連携、「人」と「自然」を中心とした経済の実践

としての生活クラブ風車・夢風の新しい試みを更に広げていきたいと考えます。今年もご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 大豆の点検・視察報告

共生食品(株)は全農食品を通じて2016年産より、にかほ市産の大豆(リュウホウ)を20トン仕入れて、生活クラブの消費材の投入の原料として使用しています。



2018年12月14日に、共生食品(株)の小林利明部長、生活クラブ神奈川の半澤彰浩専務理事が、JA秋田しんせい西部地区カントリーで大豆の点検・視察を行いました。西部地区カントリーは、にかほ市金浦にあり、にかほ市の大豆の調製施設です。

2018年度は、夏の天候が悪く台風の潮風害により大豆の葉が落ちてしまったことから、小粒の大豆が多くなった。風車「夢風」の建つ、芹田地区では約22町歩、にかほ市全体では150町歩で大豆栽培をおこなっており、今年の反収は1反(10アール)あたり100kg前後とのことです。

<写真 左:共生食品(株)小林部長、右:JA秋田しんせい西部営農センター佐々木センター長>

## にかほ市と生活クラブとの連携推進協議会幹事会報告



<写真中央 左:半澤彰浩共同代表、右:本田雅之共同代表>

2018年12月27日に、2018年度第2回連携推進協議会幹事会をにかほ市役所象潟庁舎で行いました。初めに、共同代表の本田雅之副市長よりご挨拶を頂きました。

主な議案は、「2018年度活動の中間まとめと2019年度活動方針案」「おだやかな革命上映会及び決算報告」「にかほ市の物産の取り組み報告」「高森発電所の建設に向けた進捗報告」「ゾーニング調査実施事業の進捗報告」などです。

また、6月に制定された「にかほ市自然エネルギーによるまちづくり基金条例」について、平成30年度の充当事業「花いっぱい運動」についての報告を頂きました。この基金には、生活クラブ風車「夢風」の売電収入の一部を拠出しています。

にかほ市の農家から花苗3,300個を購入し、自治会や公共施設に花苗とステッカーのついたプランターを配ったとのことで、大変好評だったとのことです。



## にかほの物産の共同購入を行います

生活クラブ風車「夢風」をおおぜいの組合員の皆さんにアピールするとともに、「夢風」を通じた秋田県にかほ市との地域間連携の取り組みによる物産の共同購入を、2018年度も2月に行います。

配送での取り組み品目は、にかほ市の生産者の伊藤製麺所「象潟うどん」(国産小麦)、佐藤勘六商店「ドライいちじく」、幸月堂菓子舗「いちじく羊羹」(3個組)、四つ葉ネットワーク「無添加甘酒」です。

デポー(お店)では、「にかほフェア」を2/25～3/3に開催します。取り組み品目は、夢風ブランド品の「タラーメン醤油味」「鱈しょっつる」「べっぴんさんいちじく」「はたはたおいる漬け」「純米大吟醸夢風」に加えて、伊藤製麺所

「象潟うどん」、幸月堂菓子舗「風車の見える丘サブレ」、でんべいかれい生産グループ「エビっこ炙り」、四つ葉ネットワーク「無添加甘酒」、佐藤勘六商店「ドライいちじく」、三浦米太郎商店「麴漬け炙りはたはた」「ハタハタ飯の素」を予定します。

年に一度だけのお楽しみです。この機会に、是非、おおぜいの組合員の皆さんに味わっていただきたいと思ひます。